

10月30日（月）、2年1組で生活科の努力点公開授業が行われました。

単元は、「わたしの町はっけん」です。町探検で調べた店や施設などについて、内容が伝わるように、話し方や資料の見せ方を工夫しながら、発表できるようにすることが目標です。2年生は、計8か所の店や施設に探検に行っています。自分が訪問していない7か所の店や施設の発表を聞きます。計3回の発表で、全ての店や施設の発表を聞くことができるように組み合わせを工夫しました。児童は、前回の学習で1回目の発表をしています。そこで、友達から「すごい」「くわしく」「なぜ」と思ったことを付箋に書いて発表メモに貼ってもらい、自分の発表を振り返りました。そして、内容がより伝わるような工夫を考えました。

初めに、話し方や資料の見せ方、学習の流れを確認しました。2年生では、普段から聞き方・話し方のポイントを、「ききかた名人『あいうえお』」「おはなし『かきくげこ』」として掲示し、意識させています（2年2組の実践に写真が載っています）。また、資料を指差しして、相手がどこを見るとよいのかを示すことで、内容が伝わりやすいということを確認しました。



【学習の流れを確認する教師】

次に、同じ店や施設を探検した友達同士で、発表の練習をしました。1回目の発表の反省から、児童は、「指を示しながら発表します」とそれぞれにめあてを言ってから練習をしました。友達からは、「もうちょっと大きい声で」や「相手を見て話した方がいいよ」といったアドバイスが聞かれました。



【発表の練習をする児童】

その後、座席を移動しました。前回とは違うメンバーでの発表会です。児童は、練習での友達のアドバイスも意識しながら発表することができました。発表後に友達から「すごい」「くわしく」「なぜ」の付箋を発表メモに貼ってもらいながら、発表の振り返りをしました。児童はこれを基に、3回目の発表をよりよくするように考えます。



【振り返りをする児童】

たくさんの教師が授業を見に来ていたことで、緊張が高まってしまった児童もいましたが、多くの児童が堂々と発表することができていました。これは、自分で探検してきた店や施設について、友達に伝えたいという気持ちの表れだと考えます。どんな学習も、児童に必要感をもたせたり動機付けをしたりすることが大切です。単元の導入でいかに「学びたい」「考えたい」「伝えたい」と思えるようにするかが、児童が学びに向かう姿勢を高めるために重要だと思います。